

1. 科目名 (単位数)	金融論 (2 単位)		3. 科目番号	SBMP2135						
2. 授業担当教員	孔 炳龍									
4. 授業形態	アクティブ・ラーニング (グループ・ディスカッションなどの双方向対話型授業)	5. 開講学期	秋期							
6. 履修条件・他科目との関係	「暮らしと経済」、「経済学」の履修後の受講が望ましい。									
7. 講義概要	現代社会においてほとんどの場合、カネを用いて商品取引を行っている。したがって、現代のわれわれの生活にカネは必要不可欠なものである。さらに金融の動向は、実体経済にさまざまな影響を及ぼす。これらのことから、個々の経済主体の意思決定、家計や企業等の金融行動に必要な基礎知識として、金融の役割、金融の方法、利子率、金融市場、金融機関、金融政策などを理解することは重要である。そこで、本講義では、金融論の基礎的な理論や現状について考察する。									
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の金融経済の現状を把握し、説明できるようになる。 2. 金融の基礎理論を理解し、説明できるようになる。 3. 金融の問題を発見できるようになり、解決策を考えられるようになる。 									
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	レポート課題の詳細は講義中に指示する。必ず事後学習をおこない、知識を定着させておくこと。レポートは、教科書の内容からテーマを選択してまとめることから、教科書は必携である。									
10. 教科書・参考書・教材	[教科書]孔炳龍著『金融論の基礎』デザインエッグ社、[教科書]孔炳龍著『コーポレートファイナンス』協進社は必携									
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 金融論の基礎知識が理解できているか。 2. (中間) レポート課題に対して的確に検討し、説明できるようになっているか。 3. 期末試験 (又はレポート) を通じて、専門用語等を理解し、説明できるようになっているか。 <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への積極的参加</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>2. (中間) レポート</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>3. 期末試験 (又はレポート)</td> <td>総合点の 40%</td> </tr> </table>				1. 授業への積極的参加	総合点の 30%	2. (中間) レポート	総合点の 30%	3. 期末試験 (又はレポート)	総合点の 40%
1. 授業への積極的参加	総合点の 30%									
2. (中間) レポート	総合点の 30%									
3. 期末試験 (又はレポート)	総合点の 40%									
12. 受講生へのメッセージ	本講義では、金融論の基礎を中心に展開していきます。前半では、金融の役割、金融の方法、金融取引を行う場である金融市場、貨幣、金融機関、金融政策を解説します。後半では、家計や企業が、いかに資金を効率的に調達し運用するかについて金融機関や株式、社債などとの関わりをもとに明らかにしていきます。教科書は必携です。教科書の用意がなく出席しても参加とはみなしません。知識の定着化のため事後学習をすること。									
13. オフィスアワー	授業中に連絡します									
14. 授業展開及び授業内容										
講義日程	授業内容	学習課題								
第 1 回	オリエンテーション (講義概要の説明) 金融論とは何か	事前学習	金融論とは何かインターネットで調べてくること							
		事後学習	授業で学んだことをまとめておく。							
第 2 回	金融の役割	事前学習	第 1 章金融論の基礎を読んでくること。							
		事後学習	第 1 章の演習問題を解く。							
第 3 回	金融の特徴: 情報の非対称性、逆選択、モラルハザード	事前学習	第 2 章金融論の役割を読んでくること。							
		事後学習	第 2 章の演習問題を解く。							
第 4 回	金融取引: 株式、債券	事前学習	第 3 章金融取引を読んでくること。							
		事後学習	第 3 章の演習問題を解く。							
第 5 回	日本の金融取引	事前学習	第 4 章日本の金融取引と金融市場を読んでくること。							
		事後学習	第 4 章の演習問題を解く。							
第 6 回	貨幣	事前学習	第 5 章貨幣を読んでくること。							
		事後学習	第 5 章の演習問題を解く。							
第 7 回	日本銀行と物価の安定と日本の金融機関	事前学習	第 6 章・第 7 章日本銀行と物価の安定、日本の金融機関を読んでくること。							
		事後学習	第 6 章・第 7 章の演習問題を解く。							
第 8 回	信用創造と信用乗数	事前学習	第 8 章・第 9 章預金通貨と信用創造、信用乗数を読んでくること。							
		事後学習	第 8 章・第 9 章の演習問題を解く。							
第 9 回	利子と利子率	事前学習	第 10 章利子と利子率を読んでくること。							
		事後学習	第 10 章の演習問題を解く。							
第 10 回	投資決定: 回収期間法・平均投資利益率法	事前学習	コーポレートファイナンス pp. 20-22 を読んでくること。							
		事後学習	問題 9 と問題 10 を解く。							
第 11 回	投資決定: 正味現在価値法・内部収益率法	事前学習	コーポレートファイナンス pp. 23-26 を読んでくること。							
		事後学習	問題 11 と問題 12 を解く。							
第 12 回	投資収益率	事前学習	第 11 章投資収益率を読んでくること。							
		事後学習	第 11 章の演習問題を解く。							

第13回	家計の金融行動	事前学習	第12章家計や個人の金融行動を読んてくること。
		事後学習	第12章の演習問題を解く。
第14回	企業の金融行動	事前学習	第13章企業の金融行動を読んてくること。
		事後学習	第13章の演習問題を解く。
第15回	為替とまとめ	事前学習	第14章為替を読んてくること。
		事後学習	授業内容を振り返り、知識を定着させる。
期末試験			